

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名 アブソリューション・プラチナム	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.460	△RG 0.049	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール：ABSolution Platinum

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番

比較対照ボール：ABSolution SPEED

フレアーの幅 インチ

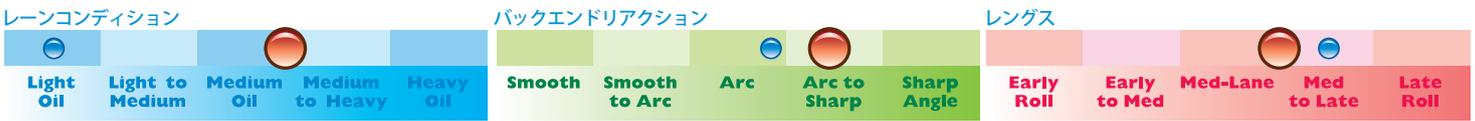
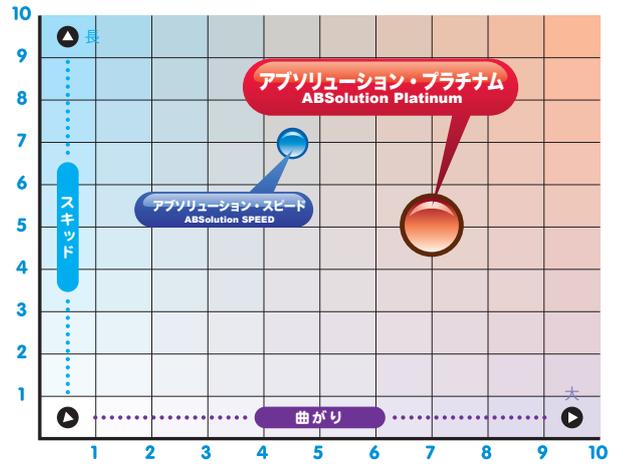
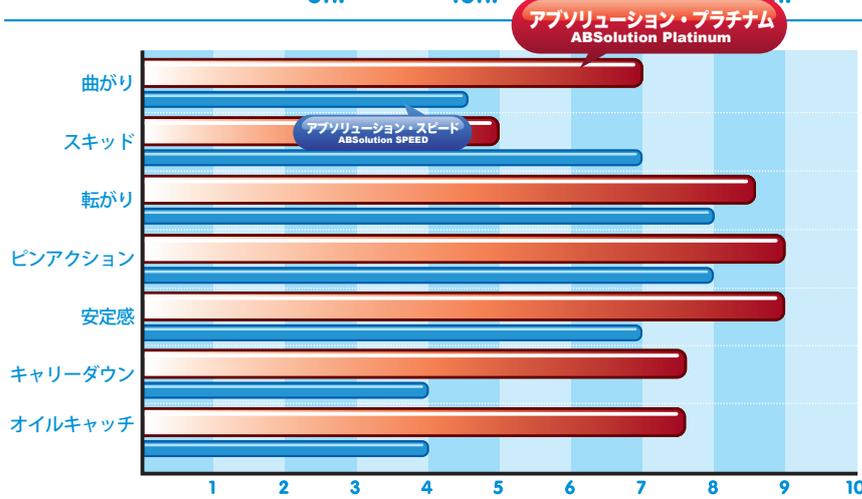
PAPからピンとの距離 **4in1/2** インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

ABSolution シリーズはナノデスに代表される国内唯一の生産拠点、日本エボナイト社のボールです。匠な製法はナノデスブランドだけではなく ABSolution にも採用されていて、Cover Stock から無二のピンアクションを実現させる衝撃吸収システムまで、常に新しいアイデアと共に進化・発展させられる情熱をかけているブランドと言えるでしょう。今回発売する ABSolution Platinum は ACCU-LINE PREMIUM SPECIAL と同一形状で、Cover Stock は Platinum の配色に伴い、ややキャッチが強めにできる添加物を使用しているのが特徴です。配色での Platinum はやや走りが先行されるものもあり、Premium Core の Mid Lane からの柔らかい動きからそのままフリップ状にキレさせるためには、やや強めの Coxer を使い走らせる必要性がありました。Nanodesu Premium やギャラクシーなど Premium Core 搭載のボールと比較すると、Nanodesu より走りが軽いので Nanodesu の次に投げるボールもしくは Midium から下の領域で使うことがマッチすると思います。一番魅せどころはやはりピンアクションでしょう。私が良く国産のボールを使うのは、それは他社にないピンアクションを得られることに他ならず、Nanodesu から ABSolution までを使えばかなり幅広いコンディションをカバーできるからです。皆さんも曲がり方もさることながらピンの飛び方にボールを選ぶ選択肢の一つとしてとらえている方も多いと思います。私はピンの飛びの良いボールを使うことに対して迷いはなく、そのボールでライバルに差をつけられるのであれば、バッグに入れることも当然だと思うのです。Nanodesu がこれだけシリーズ化しても多くの方に受け入れられるのは、日本人気質の細やかに作る技量であったり妥協なきところでもあると私は思います。そこが仕上げる ABSolution はかならずその意図があり、投げればそのスピリッツを感じる性能であると思います。

特記事項

**柔らかく切れ込み、国産無二の衝撃吸収コアシステムでストライク幅UP。
Mediumコンディションを中心に、このボールでスコアメイクを果たしましょう。**